5-1　未来塾対応ＷＧ

1. 未来塾対応 WG の概要

(1) WG の活動目的

未来塾は、国交省と協会がフリーな意見交換を行う場としてスタートしたが、近年は、各地方ブロックの意見交換会における「要望と提案」内容の調整や様々な制度設計に関する課題解決に向けた協議の場となっている。

さらに、国交省において建設生産・管理システムの上流段階となる業務（計画や調査・測量・設計段階）やマネジメントに関する議論の場となる「業務マネジメント部会」への対応を行っている。この部会の審議事項は以下に示す。

a)　入札・契約方式について

b)　品質の確保・向上について

c)　その他、業務（計画や調査・測量・設計段階）やマネジメントに関する課題

(2) WG の構成（委員）

WG長は常任委員長、副WG長は常任副委員長、その他委員は各主要専門委員会の委員長7名で、総勢9名で構成されている。

2. 主な活動の記録

(1) WG の開催実績

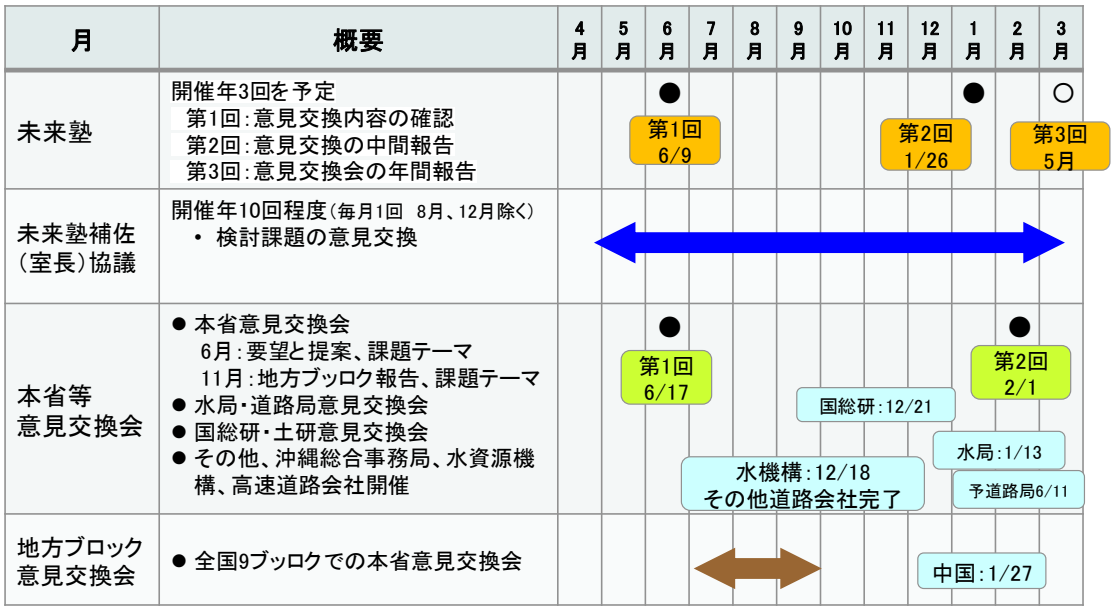
WGは、以下の日程で3回開催した。

(2) 主な検討課題

今期は、新型コロナウイルス対策関連での課題検討から緊急の要望と提案を取り纏めるとともに、テレワークの推進に向け技術調査課と協議からテレワークガイドラインを策定し、協会内への普及を図った。さらに、建コン業界のDX推進に向けてDXに関する基本対応方針骨子の素案検討も進めた。また、協会の大きな課題である8テーマを中心に様々な制度改善に向けた協議を実施した。以下に協議項目を示す。

1. 業務量の平準化
2. ウイークリースタンスの推進
3. 設計品質の確保（スケジュール管理表、条件明示チェックシートの推進）
4. BIM/CIMの普及・推進
5. 施工計画における成果の明確化
6. プロポーザルの方式の拡大
7. 事業促進PPP、CM等の普及
8. 入契制度の改革（標準契約約款の見直し、損害賠償請求額の上限設定）

3. 次年度の活動について

制度設計における重要課題に関して協議を継続していくが、新たに DX 推進を新たな主要テーマに加えて、様々な課題改善に向けた協議を推進していく予定。

（未来塾対応ＷＧＷＧ長　松田　寛志）